

オープンラボ (14:00~16:30)



研究室探索をしたい方はこちら

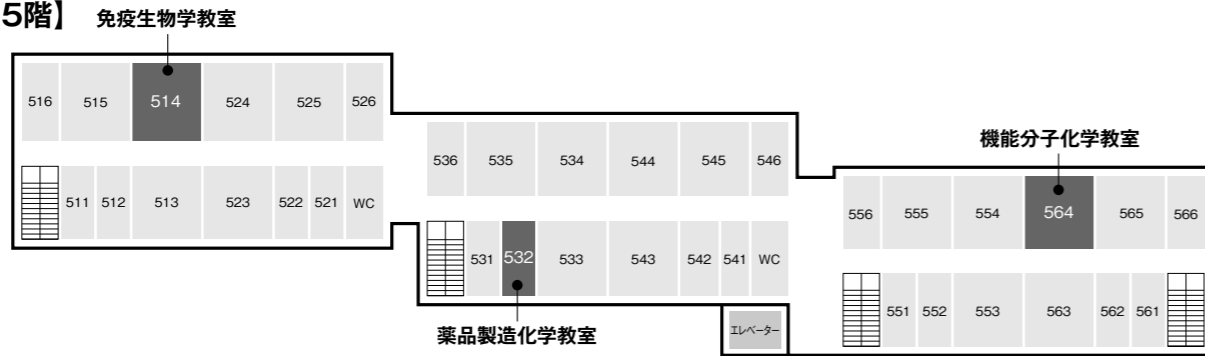
明治薬科大学には、医療薬学系、健康・環境薬学系、生命創薬科学系の研究室があります。
薬学をより深く追究している研究室を訪れてみましょう。
研究棟エレベーターをご利用ください。



【研究棟 6階】



【研究棟 5階】



薬化学教室 (生命創薬科学系)

時間:14:00~16:30 の間で随時
場所:研究棟6階
教授/齊藤直樹 助手/横屋正志

自然との融和による薬の発見と創薬のデザインと合成

海洋生物の二次代謝物など、貴重な天然資源を創薬シードとして合成化学を駆使した研究を展開しています。中でもタイ沿岸に生息する群体ホヤや海綿から発見した新規イソキノリンアルカロイドは次世代のがんの化学療法剤として世界的に注目されています。当研究室は海外協力機関との国際相互交流が盛んです。

薬品製造化学教室 (生命創薬科学系)

時間:14:00~16:30 の間で随時
場所:研究棟5階
教授/川崎知己 講師/樋口和宏

分子構造を操り、医薬の扉を開ける

医薬品の候補となる化合物、特に抗がん・抗ウイルス活性をもつものをターゲットに選び出し、これら化合物の合成およびその化学構造と生物活性との関連性を研究しています。さらに、医薬品候補化合物の合成を達成するため、必要な化学構造だけを効率よく組み立てる技術の開発も行っています。

機能分子化学教室 (生命創薬科学系)

時間:14:00~16:30 の間で随時
場所:研究棟5階
教授/石井啓太郎 准教授/杉山重夫 講師/野地匡裕

化学反応を設計する

医薬品の多くは、化学反応を利用して合成されています。最近、より効率的、選択的で環境にやさしい反応の開発が望まれています。当研究室では、これらの条件を視野にいれ、反応の活性化に光や金属触媒などを活用し、立体選択的反応を指向した新しい反応の開発、解析、応用を研究しています。

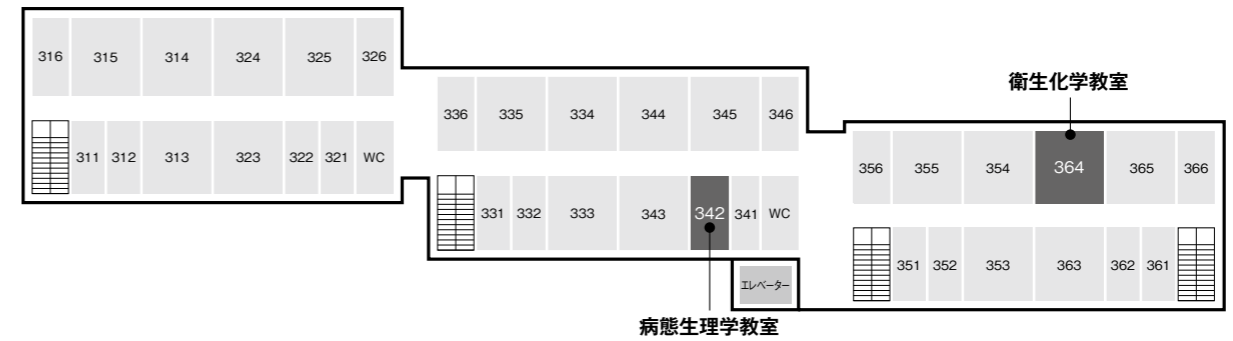
免疫生物学教室 (健康・環境薬学系)

時間:14:00~16:30 の間で随時
場所:研究棟5階
教授/西川朱實 准教授/石橋芳雄 准教授/松井勝彦

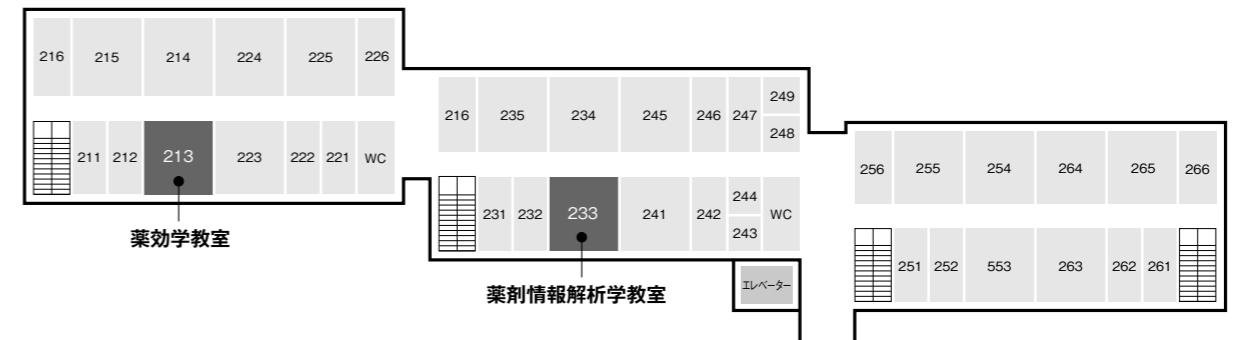
病的要因としての免疫を解明する

免疫は、微生物による外からの攻撃やがんなどの内なる脅威に対して生体を守るために備った防御機構です。一方、アレルギーや自己免疫疾患などの病的要因にもなっています。当研究室では、微生物感染および免疫疾患を主な研究対象とし、これらの疾病・病因の解明を目標として研究を進めています。

【研究棟 3階】



【研究棟 2階】



衛生化学教室 (健康・環境薬学系)

時間:14:00~16:30 の間で随時
場所:研究棟3階
教授/石井一行 准教授/小笠原裕樹 助教/大山悦子

ヒトの健康を科学する

ヒトの健康と環境のかかわりの上で重要な事象に注目し、外界からの摂取や曝される物質に対する生体防御系や影響について研究を行っています。特に、酸化ストレスに呼応した生体応答としてのレドックス防御系のメカニズムや食品の有する抗酸化能の評価および電磁波によって惹起される生体影響を調べています。

病態生理学教室 (医療薬学系)

時間:14:00~16:30 の間で随時
場所:研究棟3階
教授/石橋賢一 助教/田中靖子

水代謝と健康維持・病気との関係を明らかにする

水は生命に必須の分子で、健康維持や疾患治療にも重要です。みずみずしい皮膚を保つ化粧品開発などの健康増進だけでなく、浮腫・脱水から臓器障害におけるまで水代謝の各臓器における重要性をマウスモデルで明らかにして、治療薬開発などの臨床応用をめざしています。

薬剤情報解析学教室 (医療薬学系)

時間:14:00~16:30 の間で随時
場所:研究棟2階
教授/岸野史志 講師/大野恵子

安全で有効な薬の使い方を科学する

世の中に数多く存在する薬は、使い方によっては毒にも薬にもなります。当研究室では化学物質と生体の両面から安全で有効に薬を使いこなすために必要となる研究を行っています。また、世界各地で報告される薬に関する情報を統計的・実験的に立証し、実際の薬物治療に役立てています。

薬効学教室 (医療薬学系)

時間:14:00~16:30
場所:研究棟2階
教授/庄司 准教授/三田充男 准教授/菱沼 滋

あらたな治療薬とよりよい薬物治療指標の開発

安全で効率のよい薬物治療の実現が強く望まれています。薬物の動態や作用機序・その個体差の解明とともに、優れた治療薬とその治療効果がよくわかる指標の開発が求められています。疾患の構造や動態を担う重要な因子を発見あるいは再評価し、より優れた薬物治療の実現を追求していきます。